

.....

|                 |                                                                                             |
|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 事故・ヒヤリハットの別  | ヒヤリ                                                                                         |
| 2. 体験した事例の名称    | 緊急走行時の交差点進入における事例                                                                           |
| 3. 体験した事例の中心的要素 | 救急出場時、病者を病院に搬送中、赤信号で交差点を通過しようとした際交差点内で右折するため停車していた大型バスが死角となりバスの後方から走行してきた普通乗用車の確認が遅れ接触した事故。 |
| 4. 体験した事例の原因・理由 | 交差点通過時の安全確認の不徹底                                                                             |

.....

|                  |                 |
|------------------|-----------------|
| 1. 体験した事例の直接的な原因 | 行動の意志決定に問題があった。 |
|------------------|-----------------|

.....

|                                  |                          |
|----------------------------------|--------------------------|
| 1. 発生日時                          | 平成 19 年 6 月 14 日 午後 4 時頃 |
| 2. 発生した当時の天候                     | 雨                        |
| 3. 発生した活動現場                      | 屋外：右折ラインのある片側二車線         |
| 4. 体験した事例の種類                     | 回答者が、他人を負傷させた。           |
| 5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）  | 重傷の怪我をしていた（させていた）だろう。    |
| 6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）     | 交通事故                     |
| 7. 事例体験時の活動                      | 救急、その他：病院への搬送途上 [ ]      |
| 8. （7の活動中）<br>どのような作業中に発生したか     | 搬送中                      |
| 9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。 | 初めて体験した。                 |

## 10. 事例体験者の属性（回答者は当事者A）

|                        |                                                                                 |
|------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| ○当事者 A                 | 年齢[ 55 ]歳、 勤続年数[ 37 ]年、 現場経験年数[ 5 ] 年、 階級[ 消防司令補 ]、<br>同様の活動 [ 頻繁 ]、 任務 [ 機関員 ] |
| ○当事者 B                 | 年齢[    ]歳、 勤続年数[    ]年、 現場経験年数[    ]年、 階級[    ]、<br>同様の活動 [    ]、 任務 [    ]     |
| ○当事者 C                 | 年齢[    ]歳、 勤続年数[    ]年、 現場経験年数[    ]年、 階級[    ]、<br>同様の活動 [    ]、 任務 [    ]     |
| その他<br>(当事者が 4 人以上の場合) |                                                                                 |

## 11. 事例発生経過。

|       | 誰(何)が | なにをした                           | その他・備考など   |
|-------|-------|---------------------------------|------------|
| 経過 1  | A     | 交差点手前で一旦停止                      | 左右の確認      |
| 経過 2  | A     | 交差点の大型バスを確認、最徐行しながら前進する         |            |
| 経過 3  | A     | 大型バスの死角を避け再度左右を確認する。            |            |
| 経過 4  | A     | 左右の安全を確認後前進する。                  |            |
| 経過 5  | A     | 同時に大型バスの後方から走行してくる乗用車を発見し急停止する。 |            |
| 経過 6  | A     | 急停止と同時に接触。                      | 接触による衝撃なし。 |
| 経過 7  | A     | 事故後病者の安全確認後隊員 1 人を残し病院へ搬送する。    |            |
| 経過 8  | A     | 収容後事故処理のため事故現場に戻る。              |            |
| 経過 9  |       |                                 |            |
| 経過 10 |       |                                 |            |

【その事例発生時の状況について】

● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思えるか？

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できた。現場周辺の地理を知っていた。他隊(員)から適切な注意を受けた。

## ○心理・体調について

a. あせりを感じていた

|                                      |     |
|--------------------------------------|-----|
| ・早く、現場到着や、活動をしなければならぬという“あせり”を感じていた。 | はい  |
| ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。        | いいえ |
| ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。             | いいえ |

b. 注意力が欠如していた

|                                  |     |
|----------------------------------|-----|
| ・ 1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。       | はい  |
| ・ 活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。 | いいえ |
| ・ 体調不良や疲れにより注意力を欠いた。             | いいえ |

c. 経験・知識が不足していた。

|                            |     |
|----------------------------|-----|
| ・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。     | いいえ |
| ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。 | いいえ |
| ・活動に対する経験が不足していた。          | いいえ |

d. 心身の不調があった

|           |     |
|-----------|-----|
| ・体調が悪かった。 | いいえ |
| ・悩み事があった。 | いいえ |

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

|                     |     |
|---------------------|-----|
| ・装備・資機材自体に問題があった。   | いいえ |
| ・装備・資機材の使用方法が誤っていた。 | いいえ |
| ・装備・資機材の対処能力を超えていた。 | いいえ |
| ・必要とする装備・資機材がなかった。  | いいえ |

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

|                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| ・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。       | はい  |
| ・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。 | いいえ |

g. 行動しにくい環境だった。

|                  |     |
|------------------|-----|
| ・狭隘な場所であった。      | いいえ |
| ・暑かった（寒かった）。     | いいえ |
| ・野次馬が多かった。       | いいえ |
| ・現場周辺の地理に不案内だった。 | いいえ |

h. 足場が悪かった。

|                  |     |
|------------------|-----|
| ・足元が躓いたり滑りやすかった。 | はい  |
| ・足元の強度が不足していた。   | いいえ |

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

|                                     |     |
|-------------------------------------|-----|
| ・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）           | いいえ |
| ・指示内容に誤り・偏りがあった。                    | いいえ |
| ・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。） | いいえ |

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

|                |     |
|----------------|-----|
| ・隊員の連携が不十分だった。 | いいえ |
| ・隊員が不足していた。    | いいえ |

○その他

l. その他の理由があった。

|     |
|-----|
| いいえ |
|-----|

【事故発生後の取り組みについて】

.....

○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について